

「病院設備設計ガイドライン（電気設備・衛生設備）」の作成

病院の設備設計をする際の設計指針として、当協会より空調設備については1989年に「病院空調設備の設計・管理指針」が発行され、2004年にHEAS-02-2004として改訂版が発行されているが、電気設備・衛生設備については、これといったものがなかった。

2009年4月当協会の病院設備情報委員会（2010年5月より規格・指針委員会に改称）より指示を受け、病院設備設計の経験豊富な設計事務所5社、総合建設会社6社で構成する「病院設備ガイドライン作成委員会」を発足させ、電気設備・衛生設備の設計指針の作成をスタートさせた。その後、数度の委員会及びWGを開催し、2011年2月に「病院設備設計ガイドライン（電気設備・衛生設備）」を完成させた。

本ガイドラインの対象者は、建築設備設計や建築設備施工の専門家及び医療機器メーカーの専門家とした。また、基本的な事項については、病院施設関係者や医療従事者などの専門家でない方々を対象とした。また、延べ面積20,000㎡、300床の総合病院を想定して基本設計編（前述の後者対象）と実施設計編（前述の前者対象）に分けて作成した。

基本設計編では、まず病院建築の概要、一般建築設備と病院建築設備の違い、病院建築と各電気設備・衛生設備との関わりなどを述べ、次に病院各部門について、設計・計画時の基本的な考え方、配慮すべき項目などを記述した。

実施設計編では、基幹設備から始まり各設備ごとに実際の設計の流れに沿う形で基本事項、設備方式、原単位、留意事項などを記述した。

一般論は必要最小限とし、病院に関することを重点的に記載するようにした。また、詳細な技術資料が必要となる場合は、文献等を参考にしてもらうこととした。以下に「病院設備設計ガイドライン」の目次を示す。

*本ガイドラインは平成23年9月頃の発売を予定しております。

*本ガイドラインに関する問い合わせは下記事務局までお願いします。

一般社団法人 日本医療福祉設備協会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-39-15 医科器械会館3階

TEL 03-3812-0257 FAX 03-6240-0690

E-mail : info@heaj.org

病院設備設計ガイドライン

(電気設備) < 目次 >

I. 基本設計編

1. 概要

- 1.1 病院の種類 (分類)
- 1.2 部門構成
- 1.3 一般の建築設備と病院設備の違い
- 1.4 病院電気設備の特徴
- 1.5 用語の説明

2. 部門別計画

- 2.1 外来診療部門
- 2.2 救急診療部門
- 2.3 病棟部門
- 2.4 検査部門
- 2.5 放射線部門
- 2.6 手術部門
- 2.7 周産期部門
- 2.8 リハビリテーション部門
- 2.9 薬剤部門
- 2.10 栄養部門
- 2.11 特殊診療部門
- 2.12 供給部門

II. 実施設計編

1. 概要

2. 設備別計画

- 2.1 電源設備
- 2.2 負荷設備
- 2.3 接地設備
- 2.4 情報通信設備
- 2.5 監視設備
- 2.6 その他設備

III. 課題と対策

病院設備設計ガイドライン

(衛生設備) < 目次 >

I. 基本設計編

1. 概要

2. 病院建築の概要と衛生設備

- 2.1 病院建築の概要
- 2.2 各部門の建築概要
- 2.3 病院建築と衛生設備

3. 一般建築設備と病院建築設備の違い

- 3.1 衛生器具計画
- 3.2 機器配置
- 3.3 パイプシャフト計画
- 3.4 病院建築と給水設備
- 3.5 病院建築と給湯設備
- 3.6 病院建築と排水設備
- 3.7 病院建築と消火設備
- 3.8 病院建築と医療ガス設備

4. 免震構造と衛生設備計画

5. 部門別計画

- 5.1 外来診療部門
- 5.2 救急診療部門
- 5.3 病棟部門
- 5.4 検査部門
- 5.5 放射線部門
- 5.6 手術部門
- 5.7 周産期部門
- 5.8 リハビリテーション部門
- 5.9 薬剤部門
- 5.10 供給部門
- 5.11 透析部門
- 5.12 内視鏡部門

II. 実施設計編

1. 設備別計画

- 1.1 衛生器具設備
- 1.2 給水設備
- 1.3 給湯設備
- 1.4 排水設備
- 1.5 消火設備
- 1.6 ガス設備
- 1.7 厨房設備
- 1.8 医療ガス設備
- 1.9 R I 設備